

種原集落

交流が盛んで、
仲がいいところが誇り

2月25日(土)に種原集落で健康診断が行われ、集落から約30人が参加し、集落の誇り、課題、将来の姿などについて5つのグループに分かれて活発な意見交換が行われました。

種原集落が誇れる点については、各グループともに、「集落内の仲がいい」、「交流が盛ん」、「お米、豆腐が美味しい」、「子どもが多い」、「スポーツが強い」、「景観、自然が素晴らしい」、「夏が涼しく住みやすい」といった意見が出されました。

将来については、「集落の仲の良さは続く



▲集落の誇れるところは、何ですか？(種原)

集落の健康診断

だろう」という意見が大半でしたが、「高齢化が進む」、「車を運転できなくなる人が増える」、「子どもが集落外に出て人口が減少する」といった懸念の声が上がりました。また、「高齢化など将来を考えると今何かをしておかないと不安だ」という意見も出されました。

● 手作りの支え合い

課題や将来の懸念への対応については、集落内の交流をさらに深めるため、「老朽化している集会所の炊事場を改修する必要がある」といった意見や、「住民の手作りによるグループホームのような相互扶助の施設をつくっては」、「移動販売やみんなでご飯をつくっては」との意見も出しました。

種原集落では、今回の健康診断をきっかけに、集落活性化に向けた計画の検討が進められています。

参加者インタビュー

森田 知津子さん
(種原)

これまで大勢が集まって集落の将来や課題を話し合うことがなかった。集落の健康診断を通じて気軽に本音で語り合えたことで問題が共有できたと思う。今後は住民が気軽に集い、話し合えるような居場所づくり、交流の場づくりに取り組みたい。

中山口集落

子どもが多くにぎやかで、駅・病院・薬局などが近くにあり生活しやすい

3月18日(日)には、中山口集落で12人の参加のもと健康診断が行われました。

中山口集落の誇れる点は「子どもが多い」、「交流が盛んでまとまりがある」、「駅・病院・薬局が近く商店も多い」、「生活しやすい」といった意見が出されました。

将来については「自然環境は変化ないだろう」という意見のほか「高齢化が進む」、「独居が心配」、「今は子どもが多いが将来は不安」、「商店も減るのでは」といった心配も出されました。

● 交流を盛んにし、子どもたちに地域の誇りを

課題や将来への不安については、異年齢の交流を盛んにするため、公民館を利用し、子どもを残すプロジェクト、昔を語る会、飲み会を含めた行事をしてはといった意見や、住んでいる理由、誇りを将来を担う子どもたちに伝えることが必要といった意見が出ました。中山口集落では、このたびの健康診断を機に集落の活性化に向けた検討を進めることとしています。

◆ 問い合わせ先

企画情報課未来づくり戦略室
☎ 0859・54・5202